

世田谷区史 編さんだより

第2号 平成31年(2019)3月



■豪徳寺の調査の様子(平成30年11月)

新たな区史編さんに向けた 本格的な調査が始まりました。

昨年の秋から、新たな世田谷区史編さんに向けた資料の本格的な調査が始まりました。

写真は、今まで未調査であった豪徳寺の納戸^{なんど}を昨年11月に調査した様子です。(詳細は2ページ)

区史編さん担当では、区内の寺社、世田谷に古くからお住まいの方々がお持ちの古文書、区内外の吉良氏関係の古文書などの調査も進めています。(詳細は3ページ)

区民の皆様からの資料や情報提供を お願いしています

昭和37年(1962)に『新修 世田谷区史』、昭和51年(1976)に『世田谷 近・現代史』が発刊され、それから既に半世紀が過ぎています。

この間に遺跡や文化財等の調査により、各分野での調査・研究が進み、新たな視点からの区の歴史の見直しが進んでいます。

区史編さんでは、この間の蓄積を活かすとともに、これを機会に新たな資料を発掘し、貴重な歴史資料として活かしてまいります。

皆様がお持ちの資料等の情報がございましたら、区史編さん担当までご一報ください。(詳細は4ページ)



豪徳寺で世田谷吉良氏の 新たな古文書が発見されました

◆戦国時代の古文書

今まで全く存在の知られていなかった世田谷吉良氏の古文書が見つかりました。世田谷吉良氏は、室町幕府を開いた足利氏の一族で、室町から戦国時代にかけて世田谷を支配しました。

発見されたのは、吉良氏の朱印が押された古文書と吉良頼康の花押（今でいうサインのようなもの）がある古文書です。宛先は「弘徳院」「弘徳禅院」と書かれていました。豪徳寺の前身は弘徳院とされていますが、そのことを裏付けるものです。



■ 細長い箱の蓋を取ると古文書が・・・開いてみると吉良氏の古文書でした！

◆江戸時代の古文書

吉良頼高の菩提寺・泉澤寺（川崎市中原区上小田中）にかつてあった阿弥陀如来像の胎内墨書などを写した「吉良頼康公直筆写拔書」（享保6年〈1721〉）が見つかりました。長い間所在がわからなくなりましたが、豪徳寺の所蔵であることが確認されました。

このほか、江戸時代の過去帳や土地関係の証文なども見つかっています。



■「吉良頼康公直筆写拔書」（左）と金具の付いた箱に入っていた江戸時代の古文書（右）

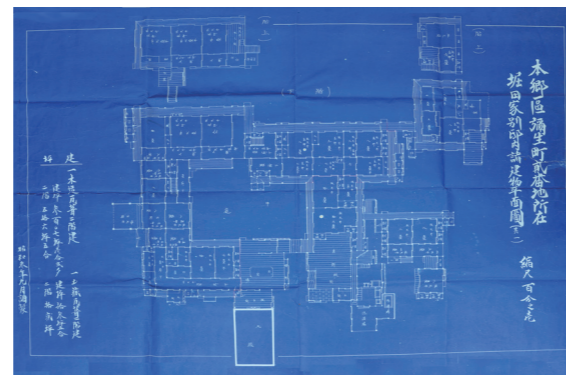
◆移築当時の庫裏の写真・図面

現在の庫裏は旧佐倉藩堀田家の江戸屋敷内にあった建物（書院）を関東大震災後に移築した



と考えられています。■塀も庭も造られていない豪徳寺庫裏です。今回見つかった写真は移築当初の庫裏の姿を撮影したものです。

図面には、移築以前の堀田家別邸のものがありました。下の写真ではほとんど判別できませんが、図面上には薄い赤線が数カ所あります。これは、実際に移築した部分を示していると考えられ、堀田家にあった建物を丸ごと移築したわけではないことがうかがえます。



■「堀田家別邸内諸建物平面図（其一）」（昭和3年9月）

◆宝篋印塔

供養塔・墓碑として建てられた宝篋印塔については、全体と部材ごとの写真撮影・計測を行い、文字がある部分は拓本を取りました。拓本とは木や石、または石碑や器物に刻まれた文字や文様を紙に写しとったものです。作業の結果、従来言われて来た文字と異なる文字が刻まれていることがわかりました。



■宝篋印塔



■宝篋印塔の拓本作業の様子

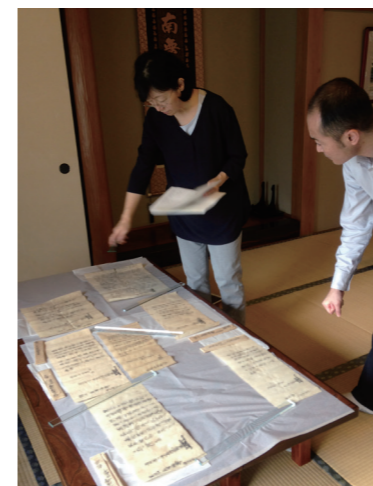
◆拓本作業—西福寺—

赤堤3丁目の西福寺では、阿弥陀像の図像が刻まれた貴重な板碑の拓本を取りました。



■板碑の拓本作業の様子

◆吉良氏関係文書の調査—泉澤寺—



泉澤寺の古文書調査の様子です。紙の折り方や大きさなども詳しく調べました。



◆等々力村「豊田家文書」を入手しました

昨年末に「豊田家文書」（江戸時代後期から明治時代にかけての古文書61件）を入手しました。

豊田氏は、かつて世田谷吉良氏に仕え、天正18年（1590）吉良氏が世田谷を退去してからは等々力村・下野毛村などに土着し、帰農したと伝えられています。その後、江戸時代に入ると、等々力村旗本鈴木氏領の名主を代々世襲しました。

明治になると、副戸長・戸長などの村役人を務め、地域の発展に寄与しました。

「豊田家文書」が発見されたことで、新たな等々力の史実が判明することが期待されます。



■「豊田家文書」の一部

■2018年5月～2019年2月調査先一覧

月	調査先（内容）	月	調査先（内容）
5月	・大平家（中世文書）	11月	・港区立郷土歴史館（中世文書）
6月	・池尻地域（軍事施設跡の視察） ・めぐろ歴史資料館（中世文書）		・飯田家（聞き取り調査）
9月	・豪徳寺（石塔・板碑） ・玉川・砧地域（耕地整理関連史跡等の視察）	12月	・豪徳寺（中世・近世・近現代資料など）
10月	・川崎市泉澤寺（中世文書） ・在塚家（聞き取り調査） ・大場家（聞き取り調査・近現代資料）		・大原社会歴史問題研究所（近現代資料）
11月	・西福寺（仏像・板碑）	2月	・群馬県立歴史博物館（中世文書）
			・伊東市文化財管理センター（中世文書）
			・三鷹市教育委員会（近現代資料）
			・齋田記念館（近世・近代資料）

資料のご寄贈、情報提供 ありがとうございました

『区のおしらせ』や『区史編さんだより』（創刊号）をご覧になられた区民の皆様から多くの資料や貴重な物品のご寄贈、情報をご提供いただきました。本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

寄贈者のお名前	主な寄贈品
相原 明彦 様	鉄道記念乗車券
井出 美影 様	戦時国債
上保 照代 様	家計簿
大場 博司 様	戦時国債
金子 廣子 様	種痘済証
清家 絢子 様	家庭用品購入通帳
永田 武彦 様	住宅営団取得書類
末原貫一郎 様	スクラップブック
山本 和雄 様	裁縫箱

旧家の調査を進めています

『新修 世田谷区史』（昭和 37 年）の編集参考資料の中に、「世田谷区内旧家調べ目録」（昭和 34 年）という簿冊がありました。

旧家とは、江戸時代に名主や年寄としよりなどの村役人を務め、今でも続く家のことです。これらの旧家には古文書が残されていることがあります。この目録は当時の編さん室が、世田谷の旧家をくまなく尋ね、古文書の有無を調べて書き上げたものです。この目録を手がかりに調査を進め、その結果収集された古文書は『世田谷区史料』や『世田谷区史料叢書』などとして刊行されました。それらは区史やさまざまな研究の基礎資料として活かされています。

今回、区史を編さんするにあたり、再度旧家の皆様に必要な資料発掘のご協力をお願いしています。これまでに、相原家、秋山家、飯田家、齋田家、下山家、長島家の皆様にご協力をいただきました。今後も新たな資料の発掘に努めてまいります。

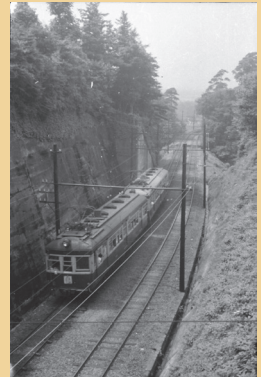
ちょっと待って、捨てないで —資料提供・聞き取りのおねがい—

皆様のご自宅や物置に、古い写真（風景・家族など）やアルバム、手紙、はがき、各種書類、日記や日誌、手帳類、通帳、レコード、カセットテープ、8ミリフィルム、地図、家計簿、新聞、雑誌、書画、絵画、チラシなど眠っていませんか。

これらは貴重な歴史資料かも知れません。もういらないから、邪魔だからと言って、捨てる前にご一報ください。

区では新たな区史の編さん作業を始めました。様々な資料を収集・保存するとともに、区民の方々からも聞き取りを行い、区史に活かしていきたいと考えています。

まずは電話でご連絡ください。



■東急大井町線上野毛付近
(昭和30年頃) 永田氏提供

区史編さん担当 03 (6432) 6144

世田谷の歴史をたどる冊子を発売中



■価格 / 1080 円

■販売場所 / 区政情報センター（世田谷区民会館内）、総合支所区政情報コーナー、郷土資料館、世田谷文学館、世田谷美術館

区制 85 周年を記念して、原始・古代から現代までを記述した『世田谷おうこうらいこん往古来今』を発行しました。

世田谷の歴史や文化、お住まいの地域に対する興味・感心を深めていただけるように、これまでの遺跡発掘や古文書の調査なども踏まえ、現時点における最新の成果をまとめています。